

二〇二五年八月二二日

峰雲へ機首たてジャンボ離陸しぬ
車窓より見えし故郷豊の秋

せいじ
愛正

二〇二五年八月二二日

入選句なし

二〇二五年八月二〇日

庭に得し一握の幸むかご飯
虫の音の囲む籬に駐車しぬ
新涼や牧のミルクは搾りたて

よし女
康子
澄子

二〇二五年八月一九日

亡き夫の日記紐解く夜長かな

よし女

二〇二五年八月一八日

盆東風に乗りて法螺の音大師堂

なつき

二〇二五年八月一七日

故郷の同胞寄りて芋煮会
カーテンの隙間つらぬく西日かな
虫の音かはた耳鳴りか老い哀し

みきお
康子
明日香

二〇二五年八月一六日

幾度も見し大文字吾白寿
火で描くドットアートや大文字
群鳩の翔ちて散らばる秋の空

董雨
せいじ
むべ

毎日句会みのる選・二〇二五年八月二四日